

モモ「ゆうぞら」における雨やけ防止資材の効果

福島県農業総合センター 果樹研究所

1 部門名

果樹 - モモ - 作業技術

2 担当者

志村浩雄・額田光彦・佐久間宣昭・畠良七

3 要旨

モモ「ゆうぞら」の果実に雨やけ資材を被覆すると、収穫期の降雨による雨やけ障害を軽減することができる。なお、雨よけ防止資材の被覆によって、果実の大きさや商品果率、着色、糖度に対する影響は認められない。

- (1) モモ「ゆうぞら」の果実に、雨やけ防止資材(商品名:「ゆうぞら」用雨やけ防止スカート(図1)、柴田屋製袋製、以下「スカート」という)および市販の二重袋を果実に被覆し、果実品質に対する影響について調査した。スカート、二重袋とともに6月下旬から7月上旬に被覆し、二重袋のみ収穫2週間前頃に除袋した。2007年は14年生樹を供試し亜主枝単位に4反復、2008～2009年は10～11年生樹を供試し1樹単位に4反復で試験した。
- (2) 雨やけ症状(図2)は2007年と2008年に認められたが、スカートおよび二重袋を被覆した樹は無袋に比較して発生が少なく、雨やけ防止効果が認められる(表1)。
- (3) スカートを被覆した果実は、無袋果と比較して果実の大きさや商品化率、糖度や着色等の果実品質について顕著な差は認められない(表2)。
- (4) 二重袋を被覆すると果面の荒れが少なくなる傾向があるが、スカートではこのような効果は認められない(図3)。
- (5) スカートは収穫前の除袋作業を要しないため、二重袋に比較して省力的である。



図1 雨やけ防止スカート



図2 雨やけ症状

表1 雨やけの発生(%)

区	'07	'08	'09
スカート	1.2 ^a	0.9 ^a	0.1
二重袋	1.0 ^a	1.5 ^{ab}	0.0
無袋	4.6 ^b	5.5 ^b	0.1
分散比	**	*	ns

表2 被覆資材の違いと果実品質

区	一果重(g)			商品化率(%)			着色度(CS値)			推定糖度(F5値)		
	'07	'08	'09	'07	'08	'09	'07	'08	'09	'07	'08	'09
スカート	335	320	336	86.4	77.2	81.8	195 ^a	165	197	12.4	10.5	12.1
二重袋	320	334	337	81.5	81.0	78.8	207 ^b	178	197	12.5	10.4	11.9
無袋	306	329	346	83.1	75.6	75.6	194 ^a	160	193	12.2	10.5	11.7
分散比	ns	ns	ns	ns	ns	ns	**	ns	ns	ns	ns	ns

注)着色度はファンテック製カラーリーター、推定糖度はFRUIT 5により測定。

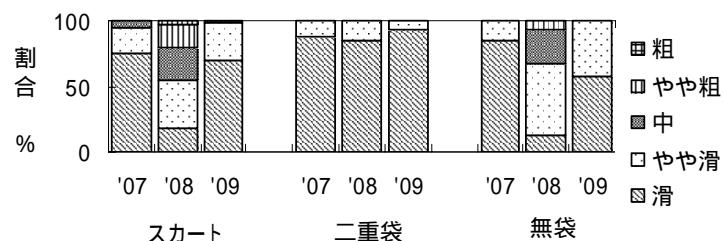


図3 被覆資材の違いと果面の粗滑

4 主な参考文献・資料

- (1) 平成19～21年度福島県農業総合センター試験成績概要